

佐野の港がまもなく開港！ 「佐野インランドポート」



佐野インランドポートの指定管理者が「吉田運送有限会社」に決定しました

市では、国際貨物の集積拠点として内陸の港である「佐野インランドポート」の実現を目指し、平成17年から研究を進めてきました。

建設地は佐野田沼インター産業団地内(佐野市戸奈良町)とし、これまでに施設の設計と指定管理者の選定を行ってきましたが、このたび指定管理者として茨城県坂東市の吉田運送有限会社を決定しました。

今後は、平成29年度中の供用開始を目指し、施設の建築工事に着手するとともに、市と指定管理者が協力し、荷主や船会社などに対するポートセールスを積極的に展開していきます。



【吉田運送有限会社の概要】

所在地	茨城県坂東市
会社紹介	輸入で利用したコンテナを内陸のコンテナターミナルなどを經由して、輸出に再利用する「コンテナラウンドユース」という事業に他社に先駆けて取り組む。 また、茨城県の経営革新計画の承認やグリーン物流パートナーシップ会議における経済産業大臣表彰など、その実績とノウハウは業界内のみならず公的機関においても高く評価されている。
実績	茨城県坂東市のインランドデポの運営を行う。 国内外の船会社9社と内陸デポ契約・コンテナラウンドユース契約を締結し、コンテナ輸送やコンテナラウンドユース事業の拠点としている。

※インランド・デポ…

内陸地に設けられた国際貨物の集積拠点で、通関手続きをはじめ、コンテナの集配、コンテナ貨物の積み込みや取り出しなどを行います



出流原PA周辺総合物流開発整備構想を策定しました

本市は、企業誘致を促進し、雇用の創出と経済の進展による地域の振興を図るために、インランドポートを核とした総合物流拠点開発整備を推進することとし、平成26年度からスタートした総合計画後期基本計画において、北関東自動車道沿線開発と企業誘致の促進の施策の中で、出流原PA周辺総合物流開発整備の推進を位置づけています。

事業第1段階	インランドポートを佐野田沼インター産業団地内に整備し、港湾物流の中心として機能させ、物流に関連する企業および輸出入企業の誘致を促進します。
事業第2段階	出流原PA周辺に、インランドポートの拡張にも対応できる物流を中心としながらも製造業の進出も視野に入れた産業団地の造成を図ります。

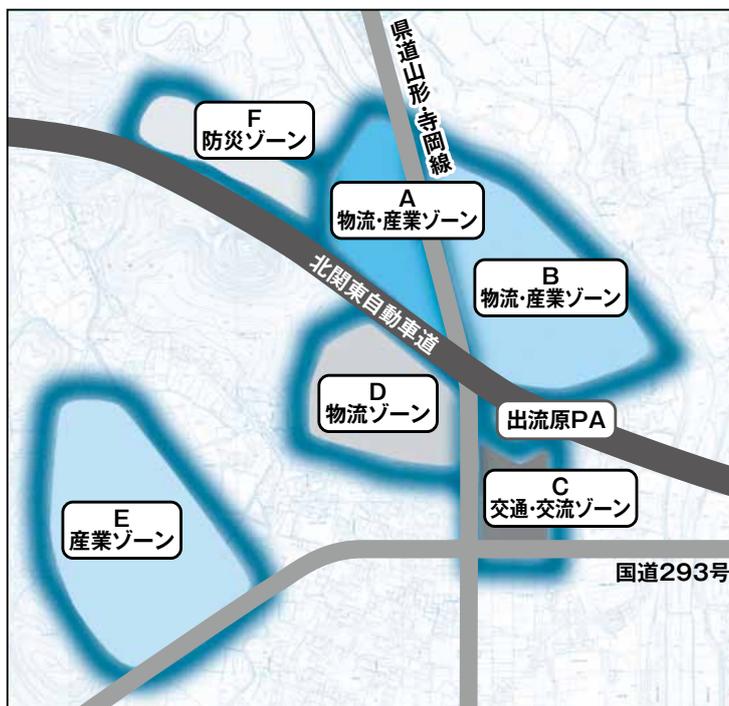
この度、これまで実施しました調査や検討を基に今後の開発の骨子となる「出流原PA周辺総合物流開発整備構想」を策定しました。

【出流原PA周辺総合物流開発整備構想】

人口減少・災害対応などの課題に対応するとともに、総合計画の将来像である「交流拠点都市」の実現を図るため、開発の基本テーマを「物流・高速交通機能を活用した北関東圏域における広域的なネットワーク拠点の形成」としました。

構想エリアは、出流原PAへのスマートインターチェンジ設置の取り組みを推進していることから、出流原PAを中心とした地域とし、ゾーニングは各ゾーンの特性を踏まえ配置を行いました。

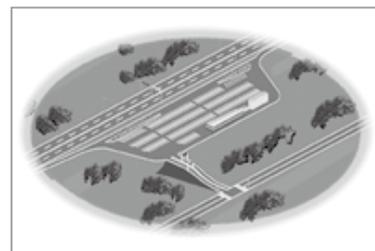
今後は、事業主体、事業区域、整備スケジュールなどについて検討を進めていきます。



(仮称)出流原PAスマートインターチェンジ～市内第4のIC実現に向けて～

本市では出流原PAへのスマートインターチェンジ設置の取り組みを行っていますが、5月27日、国土交通省による発表があり、(仮称)出流原PAスマートインターチェンジが※「準備段階調査箇所」に採択されました。今後は国と連携して設置に向けた調査を進めていきます。

※準備段階調査箇所…国として必要性が確認できるスマートインターチェンジの候補地。



■問合せ＝北関東自動車道沿線開発推進室 ☎(20)3045

